

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立大矢知興讓小学校

校長 川邊 雅史

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校では、学校づくりビジョンに「主体的に活動する興讓っ子の育成」を掲げ、学校・家庭・地域が協働して、興讓の意義を受けつぐ“保護者・地域とともに育つ学校”～保護者・地域に信頼される学校～を目指した取り組みを推進している。

学校運営協議会で協議された具体的な内容について、学校運営に反映させるよう努めている。そのねらいをより具現化していくために、今年度は興讓協議会の構成委員の見直しを図り、地域関係者を多く委員に加えた。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【地域の名所巡り】

◇地元にある久留倍官衙遺跡は、奈良時代にあった役所跡と考えられ、国の史跡に指定されている。11月にグランドオープンを迎え、6年生がきれいに整備された「くるべ古代歴史公園」や「くるべ古代歴史館」を見学した。遺跡の変遷や古代朝明郡のこと、壬申の乱や聖武天皇・万葉集との関わりなどを、映像や建物の模型を通して解説していただき、大矢知の古代のまちの姿を想像することができた。興讓協議会（学校運営協議会）においても、このような地元にある名所・旧跡を積極的に学習に活かしてほしいという声をいただいた。来年度以降も6年生の歴史学習の一環として位置づけていきたいと考える。



【地域の田んぼで米づくり】

◇5年生の「米づくり体験」学習では、コロナの影響により例年体験させていただいていた田植えは中止になったが、8月には地域の「お米の先生」（農業経営者）の協力を得て、社会科の一環として稲刈り体験をすることができた。地域と協働した学習活動として、今後も継続していきたいと考える。

【地域の方による学習支援】

◇職員のニーズに応じて、学校支援ボランティア登録者の中から、裁縫（ミシン）と書写（習字）の学習支援をしていただいた。裁縫では、初めてミシンに触れる5年生に対して操作の基礎を丁寧にサポートしていただき、習字では、地域在住の書道の専門技能を有する方に、4年生の書き初め展の指導をいただいた。運筆のポイントや「とめ・はね」のコツなど、普段の授業では味わえない学習内容を教授していただいた。



【地域の読み聞かせ団体の読書活動支援】

◇読書活動の推進に重点をおいている本校において、外部団体を招聘した読み聞かせにも力を入れている。今年度も毎週水曜日の朝の時間に、1年生を対象に「読みい〜夢」による読み聞かせをしていただいた。1月の学校公開では体育館で学年読書集会を開催し、日頃の読み聞かせの様子を保護者にも参観いただき、読書啓発に努めた。また、語り聞かせ団体「どっこいしょ」についても、月曜日の朝の時間に1年間をかけて全学年において実施していただき、児童の読書イメージを高めることができた。

【保護者による図書修繕支援】

◇毎週火曜日に図書館司書の協力のもと、学校支援ボランティア（保護者）による本の修繕作業をしていただいた。大規模校である本校では、人気のある本がすぐに傷んでしまうことが長年の課題であった。そこで、学校支援ボランティアの保護者に声をかけ、毎週決まった時間帯を作業時間として設定し自由に来校いただく体制をとり、毎回4〜5名の方に参加いただいた。その結果、修繕が必要な図書を大幅に減らすことができた。今年度の学校支援ボランティア活動の代表的な成功例となり、興譲協議会でも高い評価をいただいた。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みによる効果

本年度も、数多くの保護者・地域の皆様から、安全面での見守り活動や、学習活動、特別活動などのご支援をいただいた。特に今年度は、学校支援ボランティア活動を軌道化させることができ、一歩踏み込んだ形での保護者・地域との協働体制を整えることができたことは大きな成果として挙げられる。延べ205名の皆様にご支援いただくことができた。

また今年度は、校舎の大規模改修により、敷地の一角にある地域の所有物である「興譲館」を撤去するため、館内にある展示品の移設方法について、興譲協議会で多くの時間を費やし協議を重ねた。市教委教育施設課や大矢知歴史研究会の方にも協力を仰ぎ、展示品の精選や校舎の移設先を決定するなど、一定の成果を導くことができた。地域の思いを受け継ぎ、来年度からは校舎内に移設される展示品等を“身近に感じられる興譲”として学習活動に活かしていきたいと考える。

学校・家庭・地域をつなぐ重要な組織として、本校の興譲協議会の役割が一層明確になり、児童が「ふるさと大矢知」に愛着と誇りをもって学ぶ環境が整ってきたといえる。

3 今後に向けて

本校の学校運営協議会「興譲協議会」では、日常的な児童の姿を検証し、また学校運営の課題を明らかにしながら、その解決に向けた学校中枢の協議組織として、今後も学校・家庭・地域の協働を力強く推進していきたいと考える。そのためには、協議会で承認いただく学校づくりビジョンの実現に向けて、具体的な取組内容と指標を示しながら、その目標の進行管理を丁寧に行っていく必要がある。「興譲協議会」をまさに“小さな教育委員会”として捉え、全職員の共通認識のもと、協議された内容について一つ一つの学習活動に反映させていきたいと考える。

また、長い目で地域の中で子どもを育てる視点から、今後は中学校区の枠の中で協議会の連携を強化していく必要性を感じているため、新たな試みとして「中学校区拡大大学校運営協議会」の開催も視野に入れて提案していきたいと考える。

別紙B

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立大矢知興譲小学校

委員長 加藤 英隆

校長 川邊 雅史

月	日	協議会の開催	協議内容・活動内容（学校行事関連含む）
4	23(木)	第1回興譲協議会 (13:00～)	学校づくりビジョン承認について 年間活動計画確認について 校舎増築について 他
5			
6	16(火)	第2回興譲協議会 (9:30～)	興譲館移設に係る館内見学について 休業明け学校運営の課題と今後について 地域資源の活用について 他
	23(火)		学校公開（1～3限）
7			
8	5(水)	委員研修（葛山委員）	第1回地域学校協働活動推進コーディネーター 養成講座（三重県教文会館）
9	26(土)		運動会（半日開催）
10	7(水)	委員研修（葛山委員）	第2回地域学校協働活動推進コーディネーター 養成講座（三重県教文会館）
	28(水)		学校公開（3～5限）
11	9(月)	第3回興譲協議会 (9:30～)	興譲館展示品移設について 学校づくりビジョン中間評価について 児童の様子について 他
	14(土)		学校公開（1～2限）
12	17(木)	第4回興譲協議会 (9:30～)	興譲館展示品の精査及び移設先について 学校評価アンケートについて 児童の様子について 他
1	29(金)		学校公開（1～3限）・校内書写展
2	15(月)	委員研修（葛山委員）	第3回地域学校協働活動推進コーディネーター 養成講座（Zoomによるリモート）
	24(水)	第5回興譲協議会 (9:30～)	6年生を送る会リハーサル公開（1～4限） 興譲館展示品の移設最終確認について 令和2年度総括、協議及び来年度に向けて 他
3	19(金)		卒業式参列